

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 活動成果報告書

活動名	中小企業振興基本条例サミット
部会名	「中小企業振興基本条例サミット」実行委員会
部会長・副部会長名	部会長：和田寿博 副部会長：米田順哉
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、中小企業振興円卓会議委員
事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	719,856円 (719,856円)
活動成果 (検証結果等)	(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)
	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部：基調講演 講師：慶應義塾大学教授 植田浩史氏) ・第2部：事例発表 ・第3部：セッション (司会：和田座長) 登壇者と来場者とのやり取り (質疑等) <p>【活動成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日参加者：約100名、別添参加者名簿を参照。県外中小企業経営者、県外行政関係者また、行政施策の運用・窓口となる金融機関の皆さまも多数参加があった。松山市中小企業振興基本条例やそれに基づく中小企業振興施策等の周知・啓発につながった。別添アンケート参照のこと。 ・同友会内としては、これまで四国ブロック内の各1県の輪番で条例集会を主催していたが、来年度以降は今回の条例サミットを機会に、四県それぞれが独自に条例集会を主催して取り組んでいくこととなり、とりくみとしては広がりをもって活性化する方向となった。 ・パネリストとの打ち合わせに伴い徳島県鳴門市長との懇談を行い、鳴門市での条例の「振興会議」が再開するきっかけとなった。
課題・提案等	(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)
	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例について、さらに中小企業経営者の参加が求められること。より多くの中小企業経営者への条例運動・活動の周知。 ・一般市民も含めた中小企業憲章・中小企業振興基本条例の周知。 <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、中小企業振興基本条例サミットなど条例に関わる集会を開催する場合には、中心団体だけではない実行委員会形式をとり、日常的に多くの方々にかかわりを持ってもらう方が広がりある取り組みとなる。打ち合わせや準備段階での懇談を通じて、様々な他団体・行政・金融機関等の方々や中小企業・地域活性化の問題意識を共有して関係性を築き、より広がりをもって振興条例運動が展開できると考える。
備考	(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)
	<ul style="list-style-type: none"> ・構成団体の愛媛県中小企業家同友会では、来年度条例運動に関わる組織として政策委員会を立ち上げる運びとなっており、当面は行政の施策等、中小企業支援に関わる学習を進めることとしている。条例集会も引き続き開催したい。 ・同友会内としては、これまで四国ブロック内の各1県の輪番で条例集会を主催していたが、来年度以降は今回の条例サミットを機会に、四県それぞれが独自に条例集会を主催して取り組んでいくこととなり、とりくみとしては広がりをもって活性化する方向となった。

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類 (任意様式)
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
松山市補助金	735,000 円	719,856 円	15,144 円	松山市中小企業振興円卓会議 専門部会活動費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	735,000 円	719,856 円	15,144 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
旅費	270,000 円	285,594 円	-15,594 円	パネリスト招聘費 講師謝金、講師交通費、講師宿泊費
使用料及び賃借料	50,000 円	60,000 円	-10,000 円	会場使用料60,000円
需要費	370,000 円	92,462 円	277,538 円	タテ看板：20,520円,タテ幕・横断幕：31,190円,チラシ印刷費：5,000円,資料印刷費：30,000円,支払手数料：752円,通信費：5,000円
賃金	45,000 円	281,800 円	-236,800 円	アルバイト26,800円,事務局員人件費270,000円,@75,000円×3ヵ月,@10,000円(当日)×3名
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	735,000 円	719,856 円	15,144 円	

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 活動成果報告書

活動名	若者の就労環境に関する実態調査報告や環境改善に向けた取組み
部会名	中小企業での若者の就労環境に関する調査・検討部会
部会長・副部会長名	部会長：前田 眞
代表団体名	愛媛大学
構成メンバー	前田眞、和田寿博（以上、愛媛大学） 米田順哉（愛媛県中小企業家同友会）
事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	758,160円 (758,160円)
活動成果 (検証結果等)	(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)
	一昨年度及び昨年度のアンケート調査から、若者・企業サイド双方の検証結果を踏まえた良好な就労環境づくりに 向けたハンドブック（若年就業者向け、企業向け、各1000部）を作成した。（別添）
課題・提案等	(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)
	就業環境に係わる関係機関に配布し、ハンドブックの活用を行うこと
備 考	(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
補助金	758,160 円	758,160 円	0 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	758,160 円	758,160 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
印刷製本費	758,160 円	758,160 円	0 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	758,160 円	758,160 円	0 円	

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 活動成果報告書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟/副部会長 熊谷 環
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、愛媛県専修学校各種学校連合会、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会
事業期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,580,568円 (1,492,033円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山市内の「働きやすい職場づくり」を進めるワークライフバランス推進企業を選定し、その企業情報を学生に提供するため、大学生を対象に県内の7大学で8回、保護者を対象に1回、働き方勉強会を実施した。 ・「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業が存在し、松山市が働く、生活する上で「就職幸福市」であることを学生が認知しやすい勉強会になるよう工夫した。 ・事前に担当社労士と講師に同行してもらい参加企業を訪問し、学生への「伝え方」と「その手段」を検討するなどの求人プロモーション支援を行なった。 ・制度整備の状況、従業員への公表周知の方法、利用実績、社員教育、福利厚生等について、担当社労士が他社と相対的に比較、評価、総評を加え、今後、ヒアリング事業所が就職説明会や求人票作成で「働きやすさ」という自社の「強み」を活用していただくよう報告書（ヒアリングシート）を作成した。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ワークライフバランス推進企業 選定数 37社 ②学生向け「まつやま★みつけふえ」8回 / 参加企業数25社（延べ53社） / 参加学生数462社 ③保護者向け「まつやま★みつけふえ」1回 / 参加企業数13社 / 参加者数36名
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の採用活動の課題として「知ってもらう機会が少ない」という意見は多く、松山の企業の魅力を学生に伝えることのできる場の提供が必要である。 ・社内の制度整備が進み、その利用実績もある企業でも、会社説明会や求人票で、自社の「働きやすさ」を「強み」として十分に表現できていない企業は多い。また、学生への「魅力の伝え方」に不安を感じている事業所も多かったことから、これらの求人プロモーション支援が必要である。 ・保護者向けの対応を検討している企業が増えており、先進事例や保護者ニーズの把握・提供を求める声が多かった。
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業情報を学生、親向けに情報提供し、松山市の魅力を認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めたい。</p>

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類（任意様式）
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,492,033 円	1,492,033 円	0 円	
活動費	0 円	88,535 円	-88,535 円	法人会負担額
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	1,492,033 円	1,580,568 円	-88,535 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	527,100 円	522,900 円	4,200 円	日給7,000円×250日×1名×0.3（業務按分割合）
人件費	95,000 円	98,610 円	-3,610 円	法定福利費×1名×0.3（業務按分割合）
旅費	22,200 円	7,481 円	14,719 円	講師旅費
報償費	135,000 円	326,851 円	-191,851 円	講師（円金）謝金@1.5万円1回、@2万円1回、 @3万1回（学生向け8回、保護者向け1回（2名）） 社労士ヒアリング@4,000円×37回
需用費	298,000 円	274,186 円	23,814 円	チラシ、広告、消耗品、印刷費
役務費	0 円	1,900 円	-1,900 円	振込手数料
使用料及び賃借料	304,212 円	192,704 円	111,508 円	パソコンリース代・事務所費 郵便・電話料
会議費	0 円	38,857 円	-38,857 円	保護者向け：飲食代（法人会負担）
消費税	110,521 円	117,079 円	-6,558 円	
合 計	1,492,033 円	1,580,568 円	-88,535 円	

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 活動成果報告書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ
部会名	はたらきかたワクワクプロジェクト
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
構成メンバー	松山商工会議所
事業期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,565,950 円 (1,500,000 円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. まつやまワークワク部の活動充実のための環境づくり (1) WEBを使った企業事例紹介等の情報発信で地域への啓発(無関心層の理解) (2) 入部勧誘、入部に悩む方々への打診、フォロー (3) 入部説明会(2回実施)など活動の企画・実施 (4) 入部手続き事務(メールでのやり取り、請求書、領収書発行等)</p> <p>2. まつやまワークワク部の活動促進 (1) 働き方改革道場～基礎講座～の実施(延べ83名の参加者)※内容は別紙参照 (2) 勉強会・ミーティングBarの実施(延べ77名の参加)※内容は別紙参照 (3) 5月18日開催シンポジウムにて部活動紹介ブースを出展 (4) 部員からの個別相談に対応し、社内での働き方改革のモチベーションに寄り添った (5) 交流会の実施(社外コミュニケーションの場づくり)</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集に苦戦し、定員30名のところ7名の参加という講座もあった。 ⇒ 計画的な広報、部員の巻き込みなどで魅力ある活動を創っていく。 ・成功事例(企業事例)を伝授し、議論するスタイルは立場や業種の違いもあり、限界がある。 ・部員の「働き方改革」に対する温度や理解も違う中、一律の講座では参加しづらいという声があった。 ⇒ 悩んでいるカテゴリー同士で議論しあうほうが満足度が高く、そこから新たなつながりが生まれる。 ⇒ 楽しければ自分たちで何かやろうとする。楽しいコミュニティが必要である。 ⇒ 小さな回数の積み重ねが大切であり、部員からは小さな声がじわじわと出てきている。 ・情報共有のツールとしてkintoneを採用したが、普段使わないツールを使っただけのコミュニケーションには課題があり、積極的な交流にはいたらなかった。⇒ 使用率の高いSNSツールなどの使用も検討していく。
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も継続希望 ・経営者への訴求に注力していくことはもちろんだが、経営者が考えるだけでは働き方改革は実現できず、社員一人一人が考え、声を出していかなければならない。まつやまワークワク部は部員それぞれが「自ら」働き方改革のアクションを起こしていくコミュニティであり、働き方改革を「受け身」ではなく、「主体的に」動いていく部員のサポートとなるような、活動を実施していく。

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類(任意様式)
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
平成30年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
講座参加費	190,000 円	53,000 円	-137,000 円	
法人負担	7,400 円	12,960 円	5,560 円	
松山市補助金	1,500,000 円	1,500,000 円	円	
	円	円	円	
合 計	1,697,400 円	1,565,960 円	-131,440 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
講師謝礼	296,000 円	287,728 円	8,272 円	講師謝金 286,000円 支払い手数料 1,728円
賃金	940,000 円	1,036,680 円	-96,680 円	西山友恵 777,000円 法定福利費 259,680円
旅費交通費	200,000 円	110,440 円	89,560 円	講師旅費、スタッフ稼働分
印刷製本費	126,400 円	63,256 円	63,144 円	チラシ作成 54,000円 資料コピー代 9,040円 支払い手数料 216円
消耗品費	30,000 円	11,154 円	18,846 円	
通信費	30,000 円	11,671 円	18,329 円	
賃借料	75,000 円	43,146 円	31,854 円	
食糧費	0 円	1,885 円	-1,885 円	講師登壇用お茶、昼食代 (1回)
	円	円	円	
合 計	1,697,400 円	1,565,960 円	131,440 円	